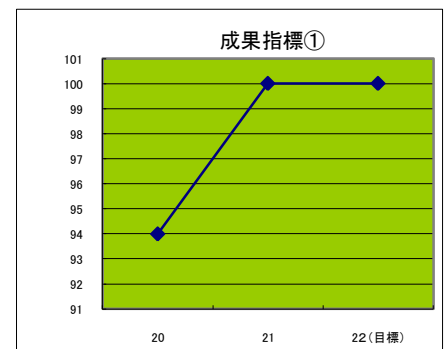
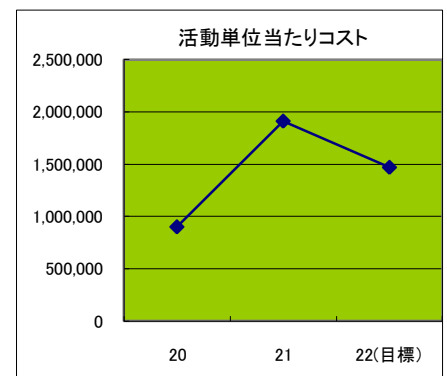


保健16

区 分		20年度	21年度	22年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		321	294	390
人件費【2】 (千円)		15,000	15,000	9,900
職員数	正規職員	2.00 人	2.00 人	1.00 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	1.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		15,321	15,294	10,290
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	15,321	15,294	10,290
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		20年度	21年度	22年度(目標)
① 食生活改善推進員養成人数	人	17	8	7
② 定例会・学習会参加人数	人	209	321	300
③				
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		901,235 円	1,911,750 円	1,470,000 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		128 円	129 円	87 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度		平成22年度
	①	養成講座修了者の食生活改善推進協議会への入会(式)	%	自主的な健康づくり活動に取り組む人を養成し、ボランティア団体に入会させることができたか	目標	100	100	達成率(%)	100
					実績	94	100	100.0%	
	②	食生活改善推進員活動への市民の参加人数(式)	人	健康づくり活動がすすんでいるか？	目標	2,316	3,599	達成率(%)	3,356
					実績	3,599	3,356	93.2%	

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	市民との協働により健康なまちづくりを推進していくには、自主的な市民活動を育成し支援していくことが必要
						○					

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い 市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない 社会情勢の変化に対応している 他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない 国・府の事業と重複していない 事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい 緊急性が認められる	☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	市民全体の健康や健康意識の底上げを図る上で地域からの取り組みや、市民の自主的な活動の育成、支援は必要である。
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など) 受益者負担の割合は適当である 人員を削減する余地がない 事業費を削減する余地がない 簡略化できる方法や手段がない 市の他事業と重複していない 民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☒	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	必要最小限の経費で事業を実施している。ボランティア活動のため、人件費はかかっていないが、活動のための試作、資料づくり、媒体づくりなど食育をすすめるために必要な物品を購入している。
	有効性	上位の施策(目的)が明確である 上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である 成果を向上させる余地がない 市民の視点にたってサービスが提供されている	☒ ☒ ☐ ☒	☐ ☐ ☒ ☐	☐ ☐ ☐ ☐	健康はびきの21計画に基づき健康づくり運動を推進していく上で、重要な事業である。
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している 事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている 事業の実施について積極的に市民の意見を反映している 事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒ ☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐	市民との協働事業として、基本的に市民主体の活動を行政としてバックアップしている。
	達成度	成果指標の目標値は適正である 成果指標の実績値は目標値以上である 成果指標は前年度より向上している	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐	自主的な取り組みが発展するよう、引き続きバックアップしていく必要がある。

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	市民全体の健康や健康意識の底上げを図る上では、市民の自主的な活動を育成し、身近な地域で健康づくりに取り組めるようにしていくことが重要である。 今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 食生活改善推進員の養成につとめ、会員に対しては活動支援を継続し、月1回の定例会(学習会)を実施し、健康づくりの知識の啓発を行う。また、それをもとに市民への健康づくり活動をすすめていく。	
行 事 本 部 評 価	総合評価	
	☒ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☒ 方法改善 ☒ 民営化・民間委託 ☒ 縮小 ☒ 廃止・休止 ☒ 完了	